

平成24年度第1回東成区区政会議 議事要旨

1 日時：平成25年1月22日（火）14時30分～16時40分

2 場所：東成区民センター 大ホール

3 出席者

市田委員、上田委員、大垣委員、大西委員、岡本(秀)委員、岡本(美)委員、桑田委員、篠崎委員、清水委員、中村委員、西野委員、濱田委員、船津委員、宮田委員、米谷委員

4 議題

(1) 東成区将来ビジョン（素案）について

(2) 平成25年度東成区運営方針（素案）について

(主な意見のやりとり：順不同)

委員 東成は高齢化、住宅密集などの課題もあるが、非常に団結したまちづくりができていると思う。高齢者が安心してそこに住み続けることができるようなまちにしてほしい。

区長 現在取組のあるおまもりネット事業を活用して、福祉のセーフティネットを構築したいと考えている。

委員 東成区には企業が多くあるが、防災の面でも協力が必要になると思う。企業との関わり方はどう考えているのか。広報や広聴の部分で企業が関われる仕組みを考えてほしい。

区長 昼間人口として区の中で活動している方の御意見も重要であると位置づけていく。もちろん企業の方々との連携は非常に重要だと考えている。

委員 学力について、学力レベルと健康状態、寝たきりになる率は比例していると言われている。どうしたらレベルが上がるか、また、区民の意識が上がるかということについて、区役所が旗振りをしてほしい。

区長 教育の面では、つつい学力向上ということになってしまいが、底辺の部分上げることをまず何よりもしなければいけないと思っている。

また、大阪市は街頭犯罪がワースト1だが、学校教育だけではなく、家庭教育力のところまで区役所として啓発活動等々に真剣に取り組んでいかなければならないと考えている。

学校はいま大変な状況にあり、改革しなければならないことが多々ある。これについては強行するのではなく、まず学校現場の校長先生、それからPTA、保護者、地域の方と話をさせてもらいながら進めてまいりたい。

委員 学校について、子どもの生活面についても小中学校で連携して取り組を進めていけないか。学級、クラスが落ちついたら学力も上がっていく。

区長 学力は小学校が39位だが、中学校になると45位と大きく順位が落ちている。これは委員がおっしゃるように生活面が影響していると思う。

ビジョンにある、「地域と保護者と区役所で学校を支援し」という部分は、地域の方々が学校に入って見守れるような、もっと開かれた中学校になってもいいのではないかという思いがある。

先生だとぶつかってしまうところが、小さなときから知っている地域の方々がいると、ちゃんとしなければというような風土ができていくのではないかと考えている。先生が学力の面でもっと力を注いでいただけるように、学校と地域の方々と保護者が連携することが重要だ。

委員 安全・安心については重要な施策であると思うが、防災対策や地域安全対策事業の予算がマイナスになっている。

区長 全体的な予算枠で、24年度から10%近い削減があった。既存の事業に関してはすべて有効性、効率性の面から見直したところである。

委員 区独自の防犯計画の策定に防犯カメラの設置推進とあるが、この予算はどうなっているのか。

区役所 防犯カメラの予算については、区の予算ではなく、市民局予算となっている。

委員 区長に権限を与えと言いながら、局予算というのはおかしいのではないか。

区長 区民からすると、市役所内部の話は関係がないはずなので、東成区役所として区民にかかわるような事業はすべて示すべきと思う。

しかし、権限の問題に関しては、まだすべてが区長権限になっている段階ではないので、そこが非常にもどかしい。

委員 安全・安心面で全国的にも大きな問題となっている密集市街地について、法改正なども視野に入れて対策をお願いしたい。

区長 密集市街地については、副市長のもと東成区も含めたプロジェクトチームで検討を始めている。

委員 地域活動協議会の現状はどうなっているのか。

区役所 先行している今里、深江以外では、1つの校下で発足し、残り8校下についても、規約の立案準備と並行して25年度の事業計画を検討している。

委員 地域活動協議会の経緯や組織体制などが周知されていないように思う。

委員 区役所として、どのように地域への周知を進めているのか。

委員 地域活動協議会の活動がすでに始まっているが、地域活動の担い手不足の問題に対応するため、複数の団体で別々に活動するのではなく、横の連携を取りながら進めることが重要だと思う。

また、予算については、従来から非常に使いにくいので一考願いたい。

区役所 時間のなかで、地域の方々に無理を申し出て取り組んでいただいている。まずは地域でご活躍頂いている中心的な方々を対象に説明させていただいているが、25年度にかけてしっかりと周知を図りたい。地域活動協議会の仕組みや効果については、活動をしなげなければ実感できない部分も多いと思うので、実体験を通じた声も聞きながら進めてまいりたい。

区長 地域活動協議会は、大阪市だけでなく、全国で同様の取組がある。東成区は、地域振興会がしっかりしており、地域活動協議会の中心となるものだと考えている。また、地域活動協議会の活動については、人口が少ない中、各校下ですべて完結ということは不可能なので、全区をまたぐような活動も必要だと考えている。

また、地域活動協議会について、区長としての方針を職員に伝えることが遅かったこともあり、区民の方へお知らせするのが遅れてしまった。

区長 東成区の区政会議は今後、今まで以上に各地域の方、各団体の方々のご意見が出やすいような形にしていきたいと考えている。